

国・地方デジタル共通基盤推進連絡協議会ワーキングチーム（第13回）

議事要旨

1. 日時 令和8年5月19日（火）13:00～13:40

2. 場所 オンライン開催

3. 出席者

林 弘一郎	山口県総合企画部デジタル推進局長
伊藤 正樹	愛知県一宮市総務部長
藤田 恵二	福岡県水巻町企画課長
名越 一郎	内閣官房デジタル行財政改革会議事務局参事官
折田 裕幸	内閣官房デジタル行財政改革会議事務局参事官
鈴木 優一	内閣官房デジタル行財政改革会議事務局参事官
杉本 敬次	内閣官房デジタル行財政改革会議事務局参事官
橘 清司	デジタル庁統括官付参事官
糸 将之	デジタル庁統括官付参事官
萩原 一博	デジタル庁統括官付参事官付企画官
池田 敬之	総務省自治行政局住民制度課長
福田 直	総務省自治行政局行政経営支援室長 併任 地域 DX 推進室長
小牧 兼太郎	総務省自治行政局住民制度課デジタル基盤推進室長

4. 議事概要

名越ワーキングチーム・メンバー（内閣官房デジタル行財政改革会議事務局）から資料1及び資料2に基づき各制度所管府省庁との共通化推進方針等の修正協議の状況を説明した後、ワーキングチーム・メンバー間で意見交換を行い、資料3の共通化推進方針等の（案）を国・地方デジタル共通基盤推進連絡協議会に提出することとなった。

<ワーキングチーム・メンバーからの主な発言>

- ・ 制度所管省庁との間で議論が重ねられ、地方公共団体の意見やこれまでのワーキングチームにおける議論を踏まえたものとなっていることから、修正協議後の共通化推進方針等の案について賛成する。
 - ・ 共通化されるシステムの導入に当たっては、費用対効果とトータルコストの分析が課題となる。既に類似又は関連するシステムを使用している地方公共団体との調整も丁寧に行うよう努めていただきたい。今後の取組のフォローアップが重要であるので、引き続き、調整をよろしく願います。
- 職務上請求システムや畜犬管理システムは特に地方公共団体からの関心も高く、様々なご意見をいただいていた。トータルコストや費用対効果の観点から、できるだけ多くの自治体に利用いただくことが、効率化のメリットの最大化につながるため、今後のフォローアップでは、自治体の状況にも配慮した上で、引き続き、各制度所管省庁に働きかけてまいる。引き続き、ご協力をよろしく願いたい。

- ・ 全国共通の事務であっても、地方公共団体ごとの人口規模、組織体制等は様々であり、実際の現場での事務も様々であるため、共通化に当たっては、何をどこまでやるかという線引きが難しいと思料。一方で、人口減少などによる地方全体の担い手不足に対し、デジタル技術の活用による公共サービスの供給の効率化と利便性の向上は不可避であり、制度を所管する国においても地方公共団体が持続可能で適切な行政運営を担うことは重要であると考え。引き続き、共通化に向けた取組の支援をお願いします。
- ご発言のようなデジタル行財政改革の趣旨を踏まえた対応をしていただけるよう、ワーキングチームの皆様と協力しながら、各制度所管省庁に対して必要な働きかけをしまいる。
- ・ 職務上請求システムに関して、戸籍情報連携システムとの連携について、トータルコストの最小化や費用対効果の観点から妥当であるかどうかを試算・検討するとされたとのことであるが、小規模な基礎的自治体としてはコスト面が心配であるため、妥当なものとしていただきたい。また、残りの7土業者団体や自治体との意見交換や協議をして対応を決定するとしていただくので、よろしくをお願いします。
- 法務省において、残り7つの土業者団体や制度所管省庁との調整を主体的に行うこととされているが、事務局としても、土業者団体等に対して地方の実態をしっかりと伝える必要があると考えている。推進方針の決定後になると思うが法務省と今後の進め方などについて意見交換をしたいと考えているし、的確なフォローアップの方法も考えていきたい。引き続き、ワーキングチームの皆様にも、御報告や御相談しながら進めていきたい。

以上